

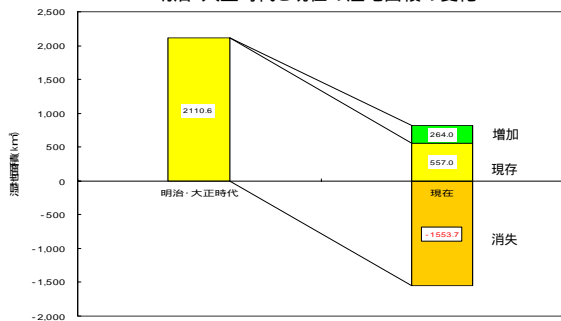
指標：湿地、干潟、サンゴ礁海域・藻場の面積の推移

湿地の面積は、明治・大正時代から約60%減少している。湿地の分布は、北海道(全体の86.3%)、東北、関東に偏っている。

干潟の面積は、1945年と比較して約38%減少している。

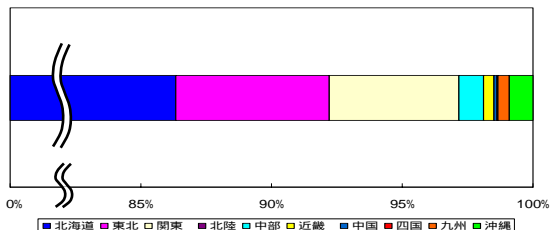
サンゴ礁海域及び藻場については、近年においても減少傾向が見られる。

明治・大正時代と現在の湿地面積の変化



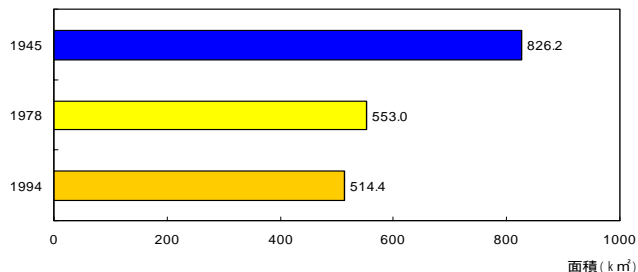
調査方法：明治・大正時代の5万分の1地形図に表示されている湿地記号の範囲と現在の5万分の1地形図に表示されている湿地記号の範囲を地形図上で比較して湿地面積の増加・減少を調べている。

現在の湿地面積のブロック別地状況

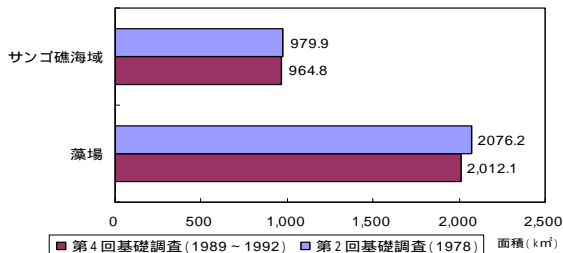


(出典) 国土交通省国土地理院HP資料をもとに国土交通省国土計画局作成

干潟の面積の推移



サンゴ礁海域・藻場の面積の推移



(出典) 環境省「自然環境保全基礎調査」をもとに国土交通省国土計画局作成